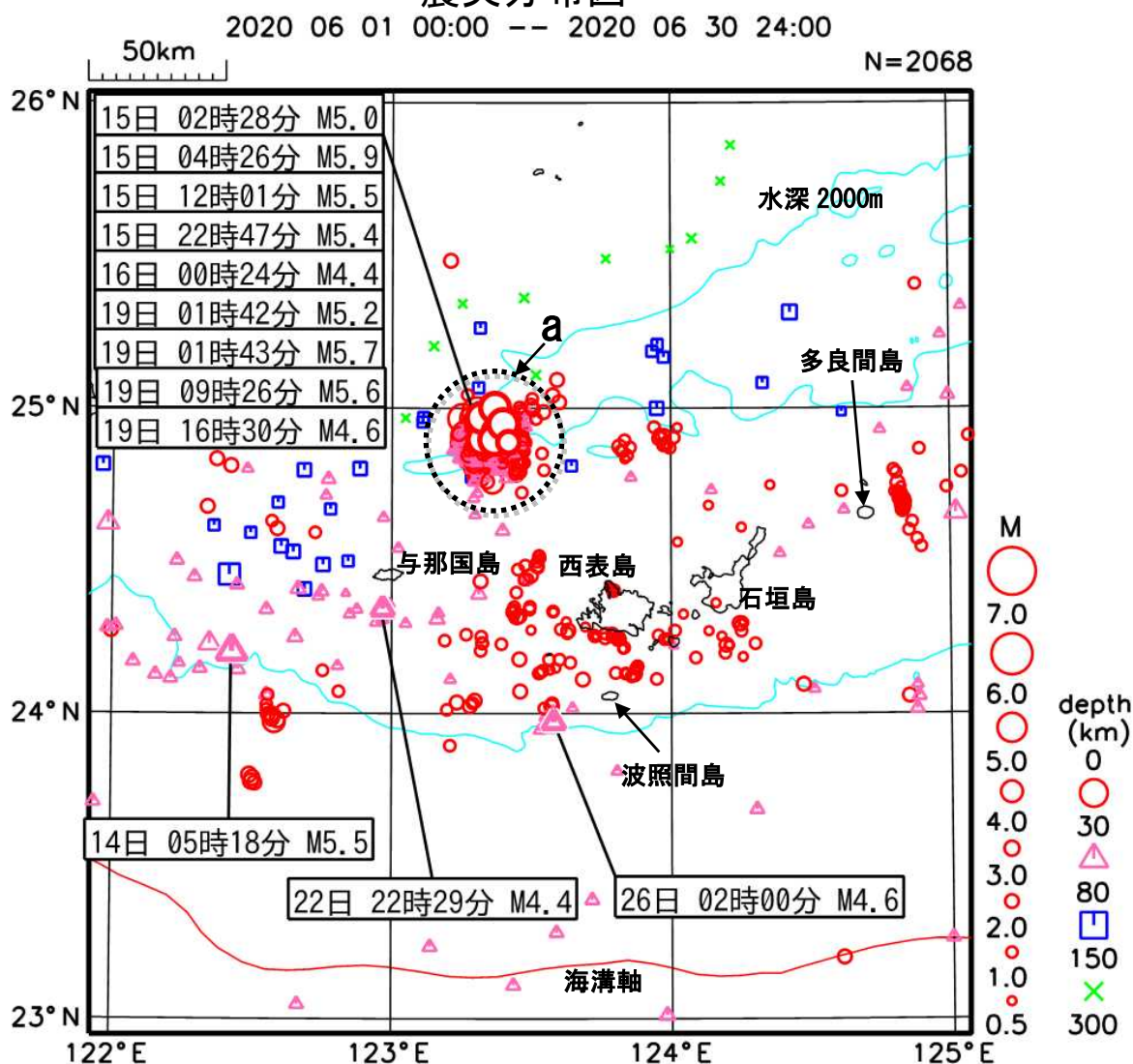


八重山地方の地震活動

令和2年(2020年)6月

石垣島地方気象台

震央分布図



図中の記号 M : マグニチュード depth : 震源の深さ
 N : 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
 震度1以上を観測した地震を吹き出しで示しています。

【概況】

今期間、八重山地方で2068回（5月は467回）の地震を観測しました。震度1以上を観測した地震は12回（5月は2回）でした。

14日05時18分に与那国島近海（与那国島の西南西約60km）で発生した地震（M5.5）により、与那国島で震度2を観測したほか、石垣島や西表島、黒島、波照間島で震度1を観測しました。

14日から与那国島近海（領域a）で地震活動が活発になり、30日までに震度1以上を観測する地震が9回（震度2：2回、震度1：7回）発生しました（別紙参照）。

22日22時29分に与那国島近海（与那国島の南約15km）で発生した地震（M4.4、深さ49km）により、与那国島で震度2を観測しました。

26日02時00分に西表島付近（西表島の南南西約40km）で発生した地震（M4.6）により、竹富町（西表島）で震度2を観測したほか、石垣島から与那国島にかけて震度1を観測しました。

八重山地方で震度1以上を観測した地震一覧（期間：6月1日～30日）

震源時 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
2020年06月14日05時18分 沖縄県	与那国島近海	24°12.1' N	122°25.7' E	52km	M5.5
震度 2：与那国町祖納, 与那国町久部良, 与那国町役場*					
震度 1：石垣市登野城, 石垣市平久保, 石垣市新栄町*, 竹富町大原, 竹富町黒島, 竹富町波照間 竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月15日02時28分 沖縄県	与那国島近海	24°53.8' N	123°19.4' E	21km	M5.0
震度 1：竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月15日04時26分 沖縄県	与那国島近海	24°56.6' N	123°19.1' E	12km	M5.9
震度 1：竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月15日12時01分 沖縄県	与那国島近海	24°58.1' N	123°19.2' E	14km	M5.5
震度 1：竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月15日22時47分 沖縄県	与那国島近海	24°55.2' N	123°22.6' E	13km	M5.4
震度 1：竹富町大原, 竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月16日00時24分 沖縄県	石垣島近海	24°53.9' N	123°24.2' E	24km	M4.4
震度 1：竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月19日01時42分 沖縄県	与那国島近海	24°53.8' N	123°21.9' E	24km	M5.2
震度 1：竹富町大原, 竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月19日01時43分 沖縄県	石垣島北西沖	25°00.1' N	123°22.1' E	14km	M5.7
震度 2：竹富町船浮					
震度 1：与那国町祖納, 竹富町大原, 竹富町波照間, 竹富町上原*					
2020年06月19日09時26分 沖縄県	与那国島近海	24°56.9' N	123°23.9' E	18km	M5.6
震度 2：与那国町祖納, 与那国町役場*, 竹富町船浮					
震度 1：石垣市平久保, 与那国町久部良, 竹富町大原, 竹富町黒島, 竹富町波照間 竹富町上原*					
2020年06月19日16時30分 沖縄県	石垣島近海	24°53.3' N	123°25.0' E	27km	M4.6
震度 1：竹富町大原, 竹富町船浮, 竹富町上原*					
2020年06月22日22時29分 沖縄県	与那国島近海	24°20.5' N	122°58.0' E	49km	M4.4
震度 2：与那国町久部良					
震度 1：与那国町祖納, 与那国町役場*					
2020年06月26日02時00分 沖縄県	西表島付近	23°58.2' N	123°34.7' E	35km	M4.6
震度 2：竹富町船浮					
震度 1：石垣市新栄町*, 与那国町久部良, 竹富町大原, 竹富町波照間, 竹富町上原*					

*の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※ 資料中のデータについて

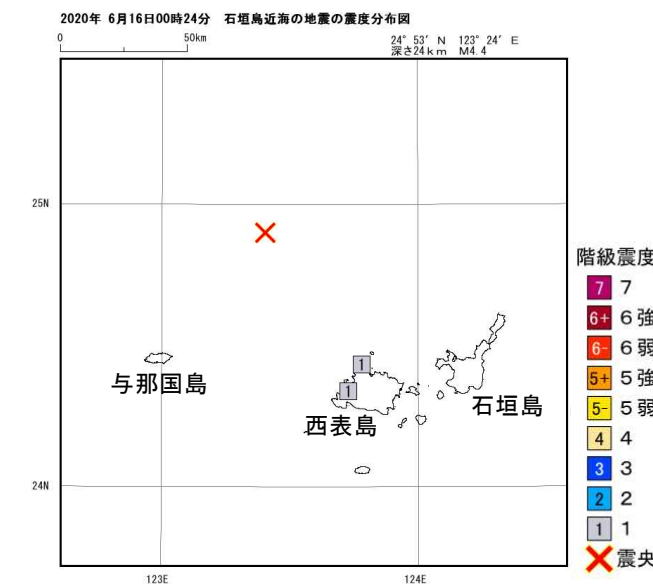
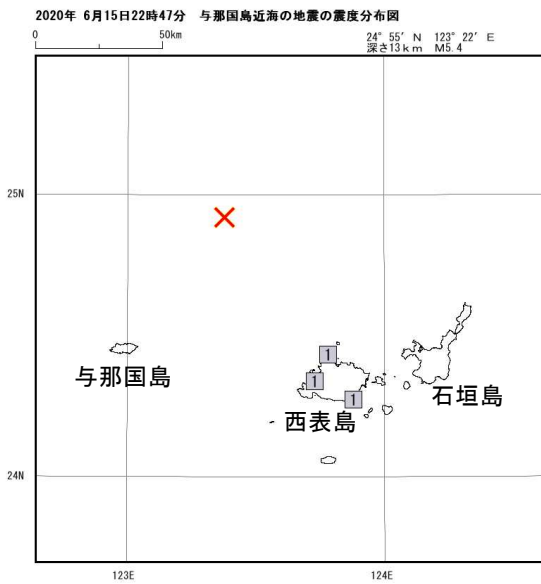
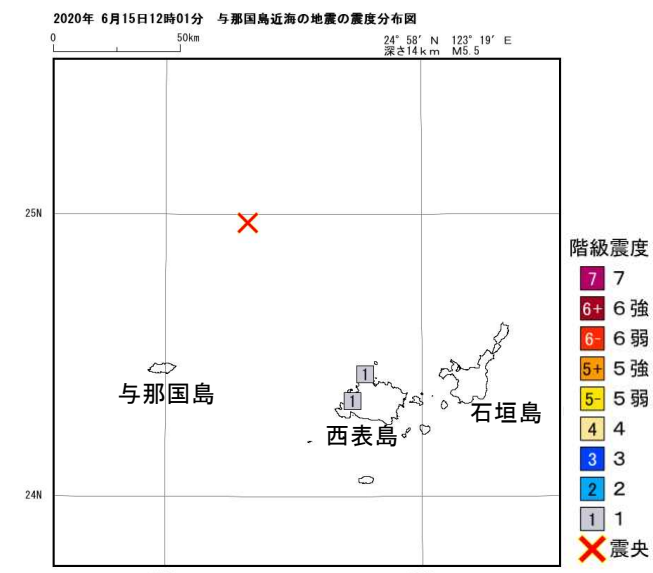
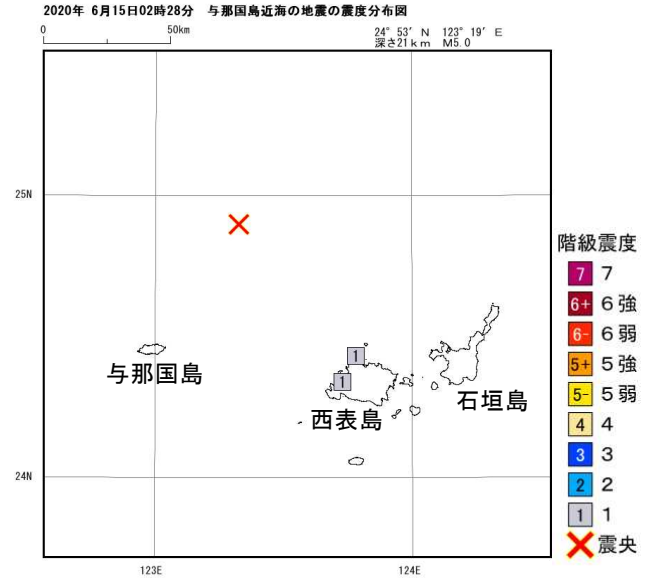
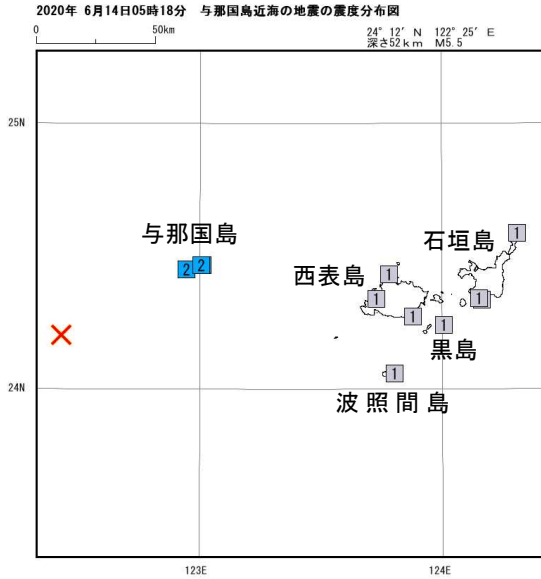
この資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

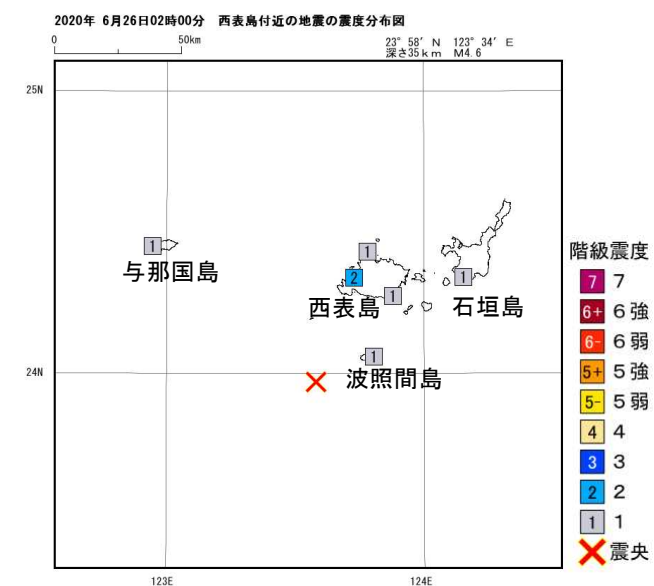
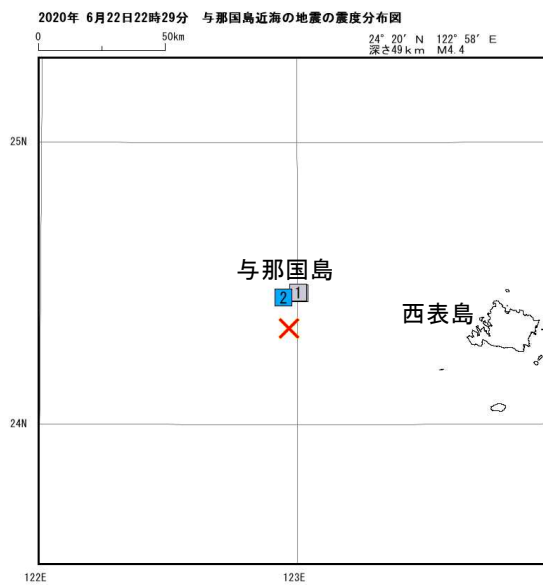
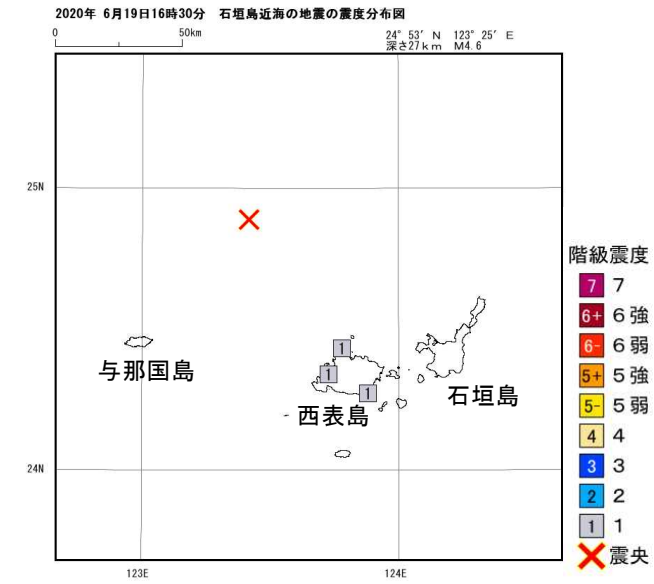
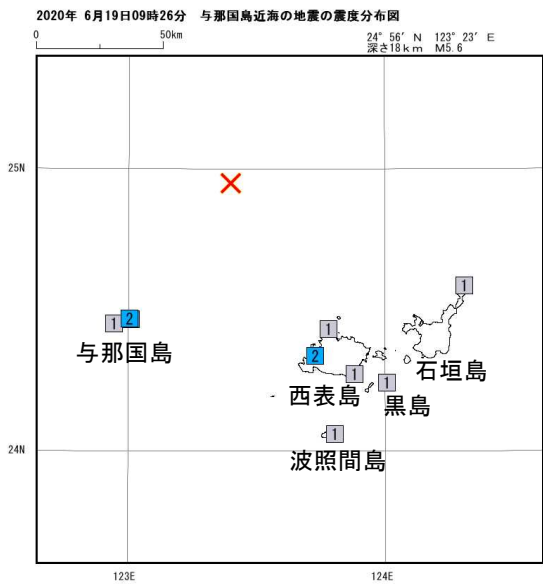
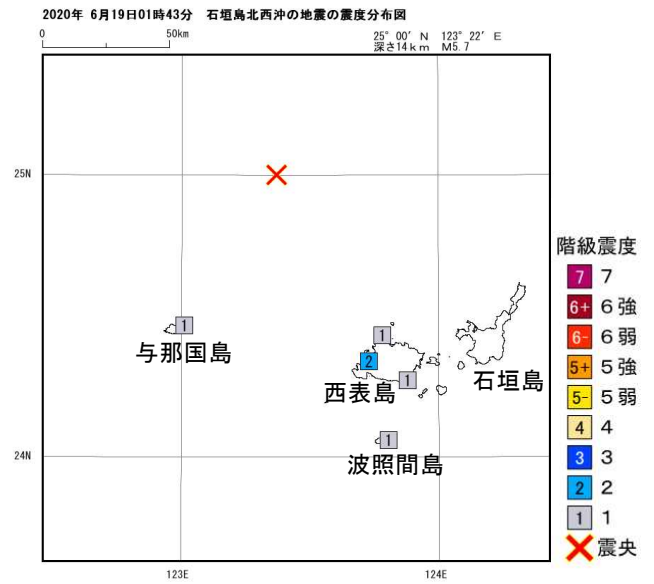
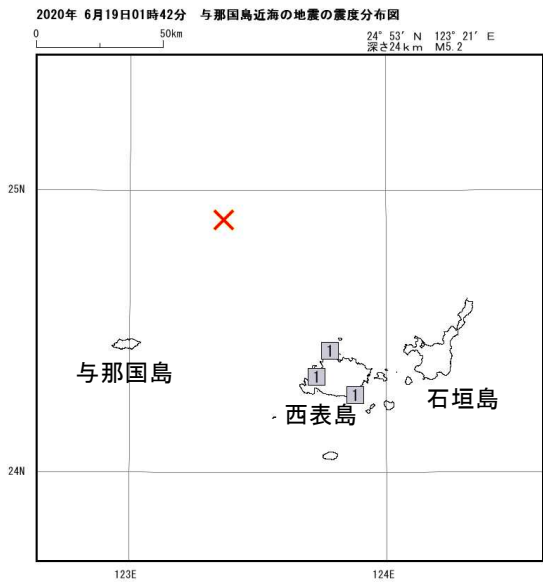
※ 概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

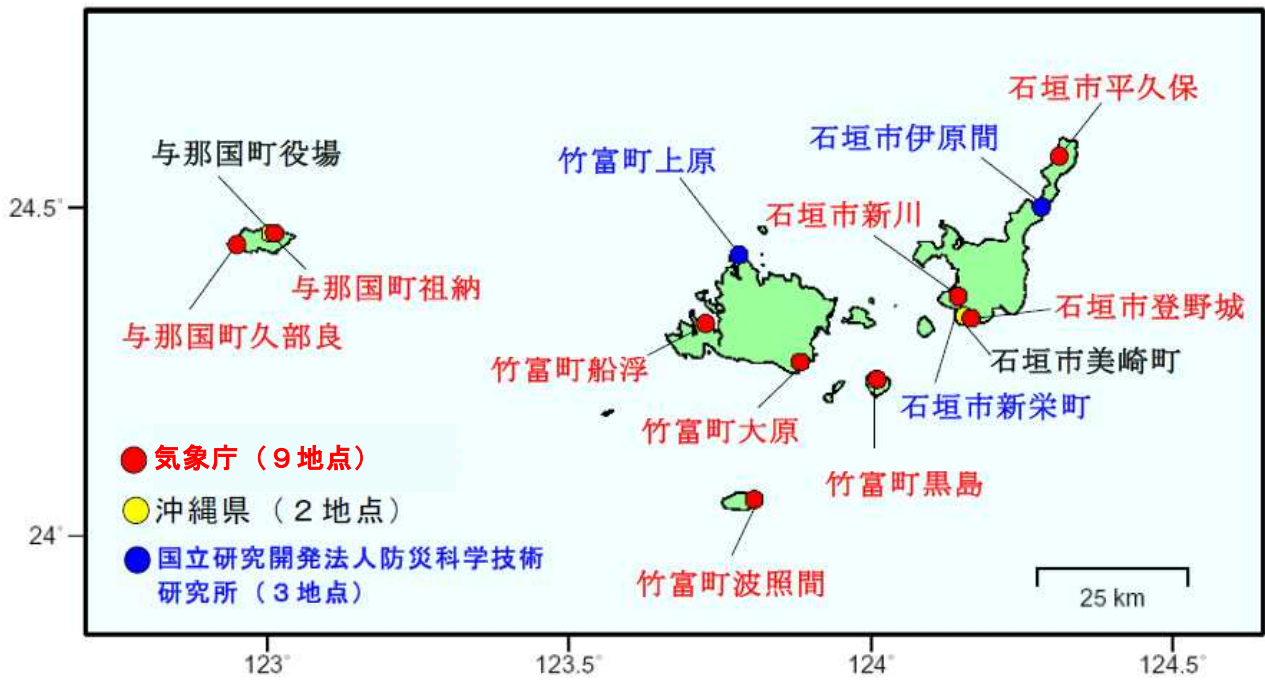
※ データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方で震度1以上を観測した地震の震度分布図





八重山地方の震度観測地点

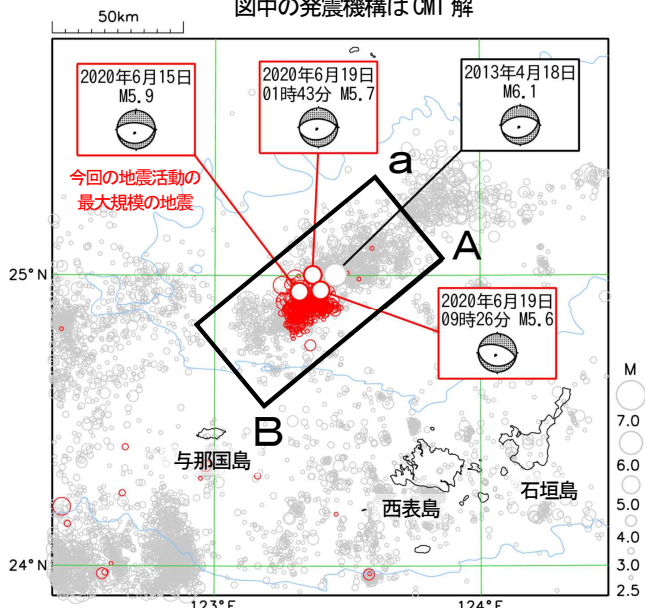


過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます
URL <https://www.jma-net.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html>
本件に関する問い合わせ先 石垣島地方気象台 0980-82-2159

6月14日以降の与那国島近海の地震活動

震央分布図

(2000年7月1日～2020年6月30日、
深さ0km～60km、 $M \geq 2.5$)
2020年6月14日以降の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解

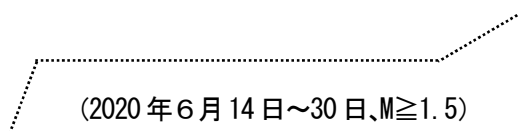


領域a内で2013年4月と今回(2020年6月14日～30日)の地震活動について、規模の大きい地震に吹き出しをつけた。

図中の青色の等値線は水深1500mを示す

領域a内の時空間分布図(A-B投影)
(2000年7月1日～2020年6月30日)

A

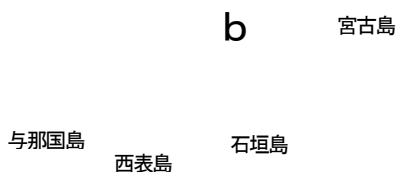


B

震央分布図

(1990年1月1日～2020年6月30日、
深さ0km～60km、 $M \geq 5.0$)
2020年6月14日以降の地震を濃く表示

今回の地震活動の
最大規模の地震



図中の青色の等値線は水深1500mを示す

2020年6月14日から与那国島近海で地震活動が活発になり、30日までに震度1以上を観測する地震が9回(震度2:2回、震度1:7回)発生しています。そのうち最大規模の地震は6月15日04時26分に与那国島近海で発生したM5.9の地震(最大震度1)であり、発震機構(CMT解)は南北方向に張力軸を持つ正断層型でした。

この地震活動は、沖縄トラフでの活動で陸のプレート内で発生しています。

2000年7月以降の活動をみると、今回の震央付近(領域a)ではM5以上を最大規模とした地震活動の一時的な活発化が時々みられます。2013年4月の活発化の際には同月18日にM6.1の地震(最大震度1)が発生しました。

1990年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域b)では、M5以上の地震が時々発生しています。

領域a内のM-T図

領域b内のM-T図